

【POPAE (ポパイ)】とは
POPAE (ポパイ) は、『札幌防災』を意味する "sapPOro : Provision Against Emergencies" の赤文字部分による造語。ロゴ・イラスト全体がイメージ・キャラクターとなり、永遠のヒーロー・ポパイ (POPEYE) のように、サッポロが災害に強く、人に優しい街を目指すことを表します。



何事も無い日常・・・

だからこそ！

肝心要の 防災の話

幸いにも手稲区では近年、地震や水害など大規模な災害は発生していません。だからといって、安全で何事も無い日々を当たり前のように感じてはいませんか？油断や慢心を見透かしたように災害は突然私たちの身に降りかかってきます。

あつては困るい
とですが…

「天災は忘れたころにやってくる」。聞き慣れたこの言葉は、災害の性格を端的に表現しています。火災はある程度予防できますが、地震や台風などの自然災害は防ぎようがありません。それだけに「起こった時の備え」がとても大切なのです。

平成七年一月十七日に発生した阪神・淡路大震災は、私たちに自然災害の恐ろしさを実感させるものでした。この震災は大きな被害をもたらすと同時に、多くの教訓も残しました。

その教訓の根本は「自らの身は自分で守らねばならない」ということ。つまり「自主防災」の心得を持つことです。

始めよう自主防災

「地震や台風が来ても、すぐに消防署の人たちが駆け付けて…」とついつい考えがちです。しかし、実際に大災害が起きたとしたらどうなるでしょう。火災の発生や建造物の倒壊などと

ともに、道路や通信網が寸断されます。そうなると防災関係機関の車両の通行や情報通信が大幅に制限されます。そうした状況で、自分の家で火災が発生したり、家族がケガをしたりしたら…。また、近所で同じように困っている人を見つけたら…。そういった場合、まず自らの力で消火作業や救助、避難などの初期対応を行っていかねばならないのです。

しかし、実際にそうした状況になった時、初期対応をするとしても、事前の準備がなければ何もできません。災害が発生した場合、「いかに行動するか」「何が必要か」ということを事前に想定しておきましょう。

地域での取り組み

災害発生時の対応は一人では小さな力であっても、地域の人たちで助け合い、力を合わせれば、大きな力を発揮することができます。自分の家や家族の安全とともに、自分たちの住む地域の安全確保に努めることが必要です。

自分の住む街に常に関心